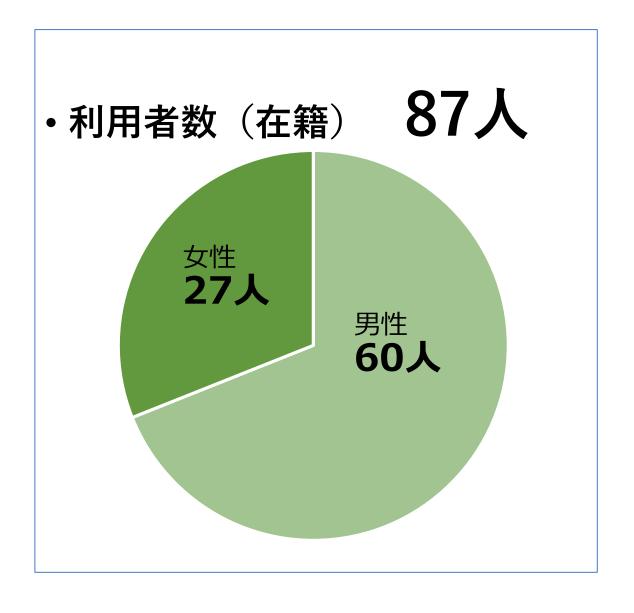
全国権利擁護ネットワーク発表資料

社会福祉法人 同愛会 大川貴志

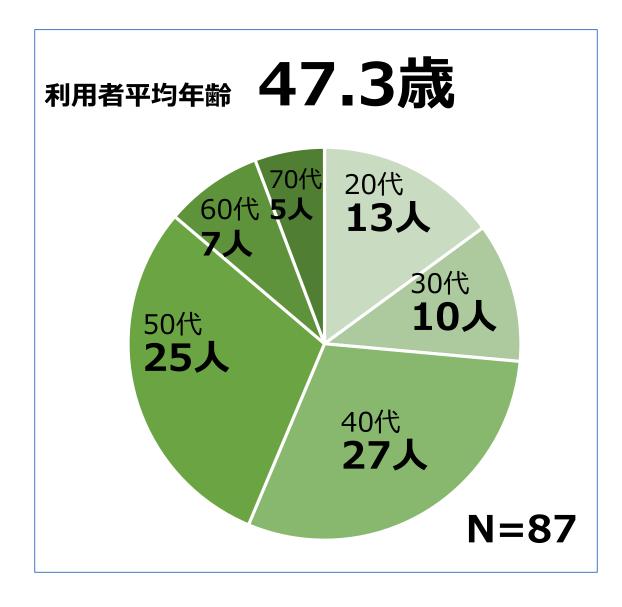
中井やまゆり園の概況①



在籍人数=87人

湘南西部 = 34人 県西 = 27人 湘南東部 = 15人 県央 = 6人 横須賀三浦 = 2人 政令中核 = 3人

中井やまゆり園の概況②



最高年齢 76歳0か月

男性 76歳0か月 女性 73歳11か月

最低年齢 22歳3か月

男性 24歳2か月 女性 22歳3か月

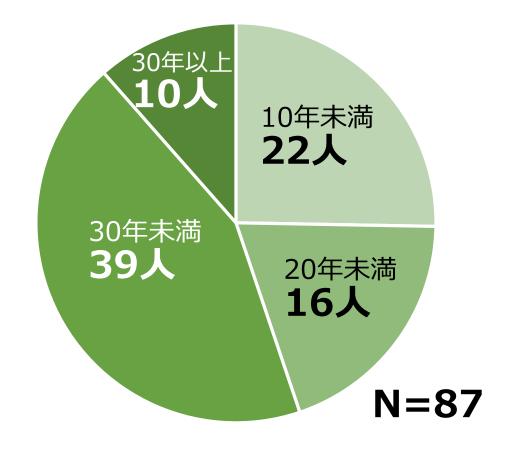
分布傾向

40~49歳=31.0% 50~59歳=28.7%

(R6.1.1時点)

中井やまゆり園の概況③

·平均入所期間 19年6ヵ月



最長在園年数 51年8か月

男性 51年8か月 女性 46年3か月

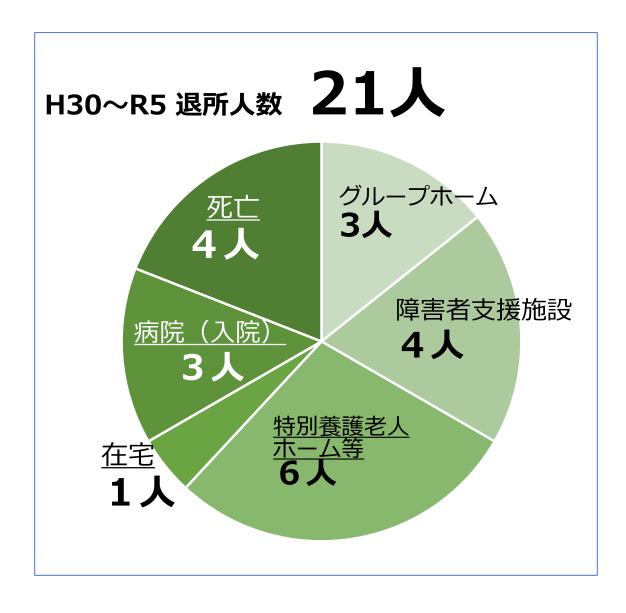
最短在園年数 2年1か月

男性 2年1か月 女性 3年9か月

20年以上在園 56.3%

(R6.1.1時点)

中井やまゆり園の概況④



過去5年間の退所状況

グループホーム 3人

死亡・病院(入院) 7人

特別養護老人ホーム等 6人

入所後に歩けなくなる・・・



• 車椅子利用者 24人

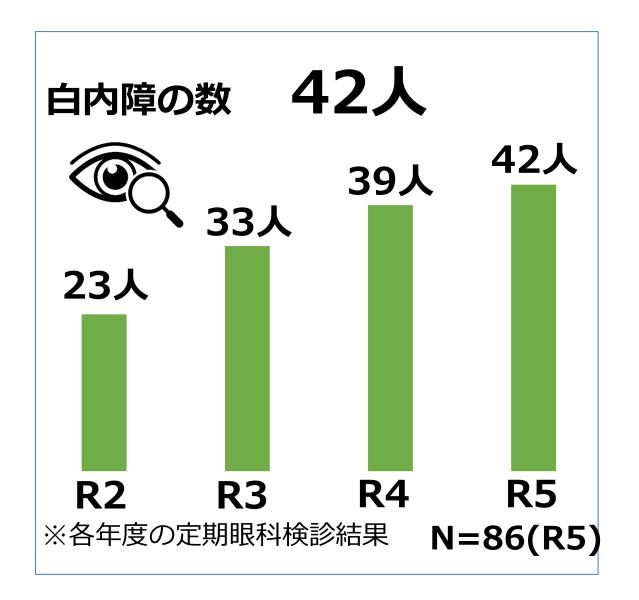


- 再整備(H12)直後に20歳代で入所→ 現在、40~50歳代
- ・ 車椅子を利用している24人の内、 **16人(67%)が40代、50代**
- 車椅子を利用している24人の内、17人は中井に入所後に車椅子となる



中井の支援が、身体機能を低下させたのではないか?

入所後に失明してしまう・・・



例:眼科検診後のフォロー 検診で白内障の所見を受けた42人

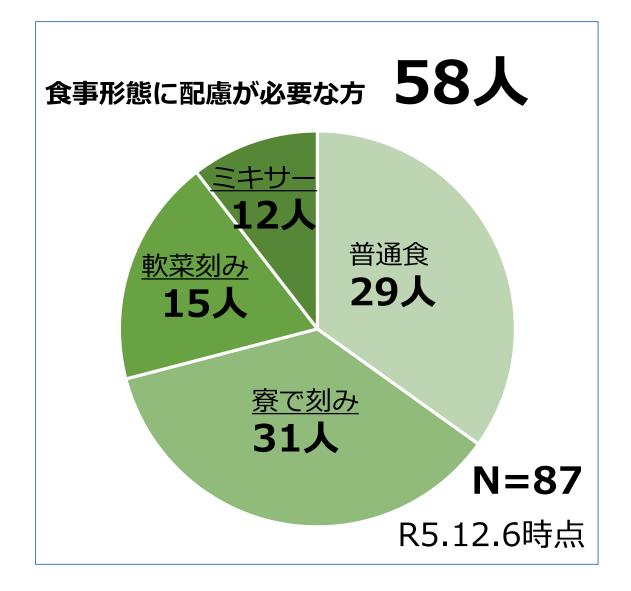
- ► 30代=2人 40代=12 人 50代=17人 60代=7人 70代=4人
- ▶ 成熟白内障7人(失明)

継続的に受診し点眼薬が 処方されている利用者 **7人**

障害を理由にして医療アクセスを あきらめていたのではないか?

食事が摂れなくなる・・・





嚥下機能の低下

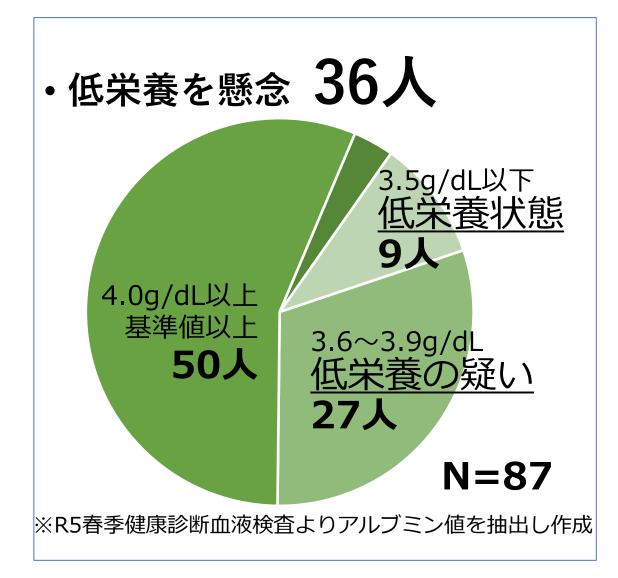
- 「なぜ食形態を落とすことに なったのか」を考える。
- 身体機能が落ちているのに、 嚥下だけが保たれている、という ことはない。
- ・急性期の支援を維持することに 意味はない。
- ・本人の状態は支援の雰囲気で変わる



適切な食事支援を行ってきたのか?

施設の中で低栄養となった





体重測定

- 人間の身体 1g = 7kcal1kg = 7,000kcal
- ・ 1か月で体重1kg減少
 - → 7,000kcal/30日が、1日ずつ
 不足している状況
 - → 積極的な食事の介入が必要

積極的な栄養介入

- ・早期に介入し、未病状態に戻す
- ・ 栄養欠乏症になると、強制的に 薬を使わないと戻れない
- ・ 医療に及ぶ前に食事でリカバリー



適切な栄養評価を行ってきたのか?

現状の問題

いのちに係る課題意識の欠如 通院の在り方 脱水 栄養管理 多剤併用、 誤嚥性肺炎 イレウス 健康診断